明治四十三年十二月十五日納本發行（毎月一回十五日發行）
明治三十七年五月七日第三種郵便物認可

明治の女子

第七巻第拾貳號

主基督のあれましく
昔を祝ふ日はちかし
月は沈みて夜静なり
クリスマスの鐘の音
丘より丘に、立ちこむる
霧を隔てて相こたふ
四の小村の四の聲
遠くよりまた近くより
断えては續く、沼の上
牧場を越えて送る音と
聴く我が身との通路を
扉の開き閉ざすごと

（テニソン）

日本基督教女子青年會發行

明治の女子　第七巻　第十二號

目次

基督の在ますクリスマス
勝利の香　拍井園
コルレヂヨの「聖き夜」
世界の光　ロボルトソン
校長ミス●ピール　安井哲子
朝鮮の婦人　柴田とう子
二つの生命（小説）　森田松榮子
枯葉　齋藤いゑ子
基督教の弟子道（聖書の研究）　チアロット●アダムス
神の攝理について　白井胤祿
我國基督教の三名士逝く
女子青年會

明治の女子

一、「明治の女子」は日本基督教女子青年會中央委員が發行する雜誌也。

一、「明治の女子」は一年分郵税共金五拾錢、一部郵税共金五錢とす。

一、日本基督教女子青年會は女子の衛生、社交、智識、靈性上の發達を圖るための團體也。

一、日本基督教女子青年會中央委員左の如し。

委員長　井深花子
副委員長　岡見惠子
記錄書記　サラ、エリス
會計　フィシヤー
萬國基督教女子青年會同盟委員　河井道子
萬國學生基督教同盟會委員　宮川すみ子

東京在住委員
エ、ピー、ウエスト　井上友子
平野濱子　鈴木歐子
中島小春子　三谷民子
安井哲子

地方在住委員
大阪　ケー、ツリスツラム　京都　佐伯小糸
京都　デントン　名古屋　ウインウイルソン
廣島　エヌ、ピー、ゲインス　神戶　デフオレスト
大阪　荒木幸子　函館　エム、ブラウンロー
呉　チルチンクトン

日本基督教女子青年會幹事　エー、シー、マクドナルド
同副幹事　エム、エル、マシウ
　　　　　エム、エス、ケール

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Correggio's "Holy Night."

コルレヂヨの聖き夜

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

基督の在ますクリスマス

兩三年前の事でありましたが「基督のないクリスマスと」云ふ事が米國で喧しい議論の題目となりました。それは米國では基督を信じない猶太人の數が隨分多い處もありますから公立學校でクリスマスを祝するにしても基督の事のはいつて居ない歌を撰んでもらひたいと云ふ註文などありて色々の意見が提出されました。此は我々には痛痒を感じない論題でありますが、然かし日本でもクリスマスが年中行事の一となつて銀座通りなど歩いて見ると外國でクリスマス時節の街を見るやうな心地がしますやうになり、信者でない人でもカアドや贈物の贈答をする人もあるやうになりました。しかし我々のクリスマスは何處處何までも基督の在ますクリスマスでなければならぬ。此の時に於てしみ〴〵基督の人格や其の御慈愛や御精神を考へて基督を愛し慕ふ心が深くなり又力に應じて苦める人寂しい人病める人に同情を表して之に幸福を分ち神の賜を知らするやうにしなければなりません。たゞ面白く樂しむばかりでは基督のないクリスマスを祝ふことになるを恐れます。

勝利の香

耶蘇基督の降誕を祝するは勝利の君の誕生を祝する所以である。此の君に隨ふことによつて我等も亦勝利を得ることが出來る。我等は次に擧ぐる聖書の一節を題として聊か此の事實を考へて見たい。

常に我等をしてキリストに在りて勝を得せしめ、又彼を知るの香を我等をもて遍く示す神に感謝す（哥林多後書二〇十回）

此の文章を今少しく原文に忠實に譯して見るならば「常にキリストに在りて我等を凱旋に加はらしめ且つ彼れを知る香を我等により何處にも顯さしむる神に感謝す」とすべきである。此れは凱旋式を譬喩に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

取つたものである。羅馬帝國の盛な時代には南征北伐の軍繁くして戰時の將軍が羅馬の都に凱旋する式は實に盛なものであつた。保羅はこの時まだ羅馬の都に上つたことはなかつたにしても、人の噂に聞く其華麗な光景は、羅馬の公民たる彼の胸を躍らせざるを得なかつた。されば其の書翰には幾度か凱旋式の事が引いてある（エペソ書四〇八）。さうして凱旋式の當日は羅馬に在る神々の宮に香を燃いて神を祭る、其の芳しい香りが羅馬の都に薫ずると云ふ有樣であつた。保羅が凱旋式の事を語つて次にキリストを知るの香りと云つたのは此の風に因んだものであらうと學者は説明して居る。思ふだに壯に又嚴肅に感ぜらるる。以下數箇條に分けて此の裡の消息を解き明して見たいと思ふ。

（一）キリストは勝利の君である

キリストは十字架にかかつて死なるる前『我れ既に世に勝てり』と云ひ給ふた。不信者の目から見ればキリストの一生は失敗の生涯と見えたかも知れぬが、キリスト御自身は徹頭徹尾勝利の生涯であつたことを信ぜられた。キリストの御一生には幾度か失敗に向ひ得た岐途があつた。先づ四十日四十夜荒野に於て惡魔と奮鬪せられた。若しもキリストがあの時己れの名譽とか安樂とか手近い成功とかを標準として向背を定められたならば先づ第一歩を誤つたもので彼は精神的の權威を失はれたであらう。然れども此際彼は勇ましく戰はれて勝利を得られた。傳道に從事なされて後も幾多の障害や困難や反對と戰はれた。其の骨肉親戚なども彼の心事を了解せず狂氣したと云つてイエスを連れ歸りに來たほどであつた。愛の深いイエスは如何ばかり心を痛め給ふたであらふ。又人をして神の愛を知らせ己の使命を認めさす爲に人の心の頑固冷淡僞善等さま〳〵の妨を打ち碎かねばならなかつた。ましてや至る所に穽を堀つて彼を陷れやうと待ち伏せして居る敵がある。剃刀の齒を渡るやうな危い場合も少くなかつた。此の間を潛つて進んで行くにはたゞ勇氣を要するのみならず又知慧と思慮も必要であつた。然して終に最後の一週間となつた。ゲッセマネに於ける精神的戰爭は如何に苦戰であつたか。其の汗は血の滴のやうに落ちたと書いてある。この處でも港口で舟を覆へすやうな失敗は有り得たのであるが、然し立派に勝利を得給ふた。泰然として十字架に死なれた。然して

二

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

復活せられた。復活は死にさへ勝たれたことを示すものであつて最後の勝利である。

(二)我等はキリストに隨つて勝利を得るものである。

我等は此の勝利の將軍に隨ふて戰ふものである。我等は弱い然れどもキリストは強い。勇將の下に弱卒なし。我等は此の強い大將の精神を吹き込まれて強く勇ましいものとなり得るのである。パウロは『寧ろ喜んで我等の弱きに誇らんこれキリストの力我等に宿らんためなり』(哥林多後書十二〇九)と云つて居る。キリストに依れる信仰は纎弱い婦人にも大丈夫に勝る勇氣をもたしむるのである。我等は聖書の本文に就きて猶一層精にパウロは如何なる連絡から此のやうな事を言ひ出たか考へて見たい。其の前の第十二節十三節には何を書いてあるかと見ると『我れキリストの爲にトロアスに至り主我がために門を闢きたまひしに、我が兄弟テトスに遇はざるが故に我が心安からず彼等に別を告げてマケドニヤに往けり』となる。何だか藪から棒のやうで少しも連絡がないやうであるが大に連絡がある。仔細を話せば長くなるから極々かい摘んだ所を申して見たい。此の手紙を送つた哥林多と云ふ所は希臘のコリント地峡に在つて商賣の盛な都會であつた。パウロは三年の間この處に傳道して骨を折つた結果、信者が出來、教會も建つた。然るにパウロが此の地を離れてエペソに傳道して居る間にパウロに反對する人々が教會の中で勢力を得て教會は非常に憂ふべき狀態に陷つた。人心の輕薄は悲むべき極である。パウロは之を聞くや取る物も取り敢へず海を越へて哥林多に行つたものと見える。さうして教會の人々に面會して話をして見たけれども馬耳東風と云ふ有樣で少しも効果がありさうにないのみならずパウロに對して失禮な待遇をした。パウロはせん方なくエペソに歸つて來た。しかし猶ほ手を盡して見る考へて萬斛の愁心を一通の手紙に籠め涙を以て書き送つた。同じ章の四節に『我れ大なる患難と心の哀痛あるにより多くの涙を以て汝等に書き送れり』とあるは即ちこれである。愛する弟子テトスは之を攜へて復た哥林多に行つたのである。パウロはテトスの返事如何と待ち詫びトロアスで傳道の門戸が開けたに拘らず去つてマケドニヤに到りテトスを待つたのである。第十二十三節はその事を云つたものである。其れから事は

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

どうなつたかと云ふと同じ手紙の七章六節に續けば始末が解かる。テトスは勝利の報知を齎して歸つた。パウロの熱涙は哥林多人の頑な心を碎いた。彼等はパウロに對した仕打を心から悔いた。パウロは喜の餘り更に後書を書き贈つたのである。これはパウロがキリストに於て得た勝利の一例である。これは一例に過ぎぬ。勝利の種類はさま〴〵である。自身か基督敎を信仰するについて兩親や親戚が反對して一方ならぬ心配をする、けれども終に自分の信仰と誠心が彼等を動かして雨後の月を見るやうな喜に逢ふ、これもキリストに由つて得る勝利である。又アウガスチンの母モニカのやうに愛する者が信仰に歸せん爲に長の年月丹精を凝らして祈りもし苦勞もした末に遂に願が聽かれて神の惠を感謝する日に逢ふ、これもキリストに由つて得たる勝利である。又罪惡の力に縛られて之を脫すること出來ずパウロの如く『噫我れなやめる人なる哉』と叫んだ者がキリストの力己が身に宿るによつて罪の痼疾が癒され潔められた時これ亦キリストに由つて勝利を得たのである。キリストの凱旋に參加し得たのである。是の如くキリストとともに苦むものはキリストと勝利の喜に與かるのである。この勝利は常に得らるる勝利である。常にの二字は希望の力である。パウロは『我等もしキリストと偕に死なば彼とともに生きんことを信ず』（羅馬書六〇八）と云つて居る。

（三）キリストを知るの香り

人を知るのは其の人と事を偕にし艱難を共にするに如かぬ。戰友として偕に死生の場に出入することはいかばかり心の結ばるものであるか、軍馬にさへ別を惜んで泣くと云ふではないか。我々がキリストを知る最良の道はキリストとともに戰ひキリストと偕に勝利を得ることであらう。かくしてキリストを知り得たならば其處に云ひ難き喜びと生命に觸る、キリストを知るの香りとは之を云ふのである。前に云つた通り凱旋の日羅馬の都に入るものは宮にてたく香の香りの薰ずるに觸るるであらうが、キリストの凱旋に列る時には、淸く芳しき空氣に包まるを感しない人はないのである。イエスが惡魔の誘惑に勝たれた時には天使來り事ふと書いてある。我々が小い誘惑でも之に勝た時には天使の音樂を聞く心地がするのである。ただ勝利を得たときに限らない我々が心を落ち着けてしみ〴〵とキリストに交り其

の恩惠を思ひ其の感化に接する時には矢張一種の香りを心に留むる心地する。平家物語の中に、延喜の頃勅使中納言資澄高野山に登り大師を拜んだ事を記した後に次の如く書いてある。

勅使と僧正とは拜し給へども僧正の御弟子石山の内供俊祐其の時はいまだとうきやうにて供奉せられたりしが、大師拜み奉らずして深く歎き沈みておはしけるを僧正手をとりて大師の御膝に押し當てられたりければ其の手一期の間芳しかりけるとかや。その移香は石山の聖教に殘りて今にありとぞ承はる。

心に留まる話である。我等にもキリストの移香が殘らねばならぬ。然して其の香りは又他人を感化する。パウには『彼を知るの香を我等をもて遍く示す』と云つて居る。所謂流風餘韻自から人に薫するものがあるのである。『敷島の大和心を人問はば朝日ににほふ山櫻かな』と歌にもある如く、基督者の心も亦恩の朝日に香ふものでなければならぬ、清芬人を襲ふ事がなくてはならぬ。さうして此の香りには威力がある。たゞ氣持が良いと云ふやうなものでない、惡い人は其れに堪へられぬやうに感し、善い人は之て以て活き上がるやうにならねばならぬ。パウロは云つて居る『救はるる者に就ても沈淪者に就ても我等神の爲にはキリストの馨香なり沈淪者の爲には死の香にて彼等を死に至らしむ。救はるる者の爲には生の香にて彼等を生に至らしむ』。

願くはクリスマスの時節、さらでだに何となく思ひ出多き此の時節にキリストの清芬に接し之を身に沁めたいものである。

コルレヂヨの『聖き夜』

『近き邊に羊を牧ふもの有りけるが、野に居りて夜其の群を守りたりしに、主の天使きたりて主の榮光、彼等を環照しければ、牧者大いに懼れたり。天使之に云ひけるは懼るゝこと勿れ、我萬民に關りたる大いなる喜びの音を汝等に告ぐべし。われ今日ダビデの邑に於て汝等の爲めに救主生れたり。是れ主たるキリストなり。汝等布にて裹みし嬰兒の槽に臥したるを見ん。是れ其の徴なり。倏ち衆の天軍あらはれ天使と共に神を讃美て云ひけるは、天上きところには榮光神にあれ、地には平安、人には恩澤あれ。天

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

使等かれらを離れて天に行きければ羊を牧ふも互にいひけるは、いざベテレヘムにゆき主の示し給へる其の有し事を見んとて急ぎ至りマリアとヨセフまた槽に臥したる嬰兒に尋ね遇へり」。(路二〇八—十六)

本號の口畫にした『聖き夜』と云ふ名畫を畫いたコルレヂヨ・アレエグリイは第十九世紀の末つ方に生れて千五百三十四年に死んだ以太利の美術家である。コルレヂヨは市の名で、本名はアントニオ・アレグリイである。彼の家はコルレヂヨに住んで父は胡椒を商ふ業をして居つた。此の畫家は少い時分は内氣な嬰兒であつたが、鋭い想像力を持つて居つた。ロムバルディ博士と云ふ人に就いて解剖學を勉强し。それから畫をかくことを習つた。彼は早熟の人て又創始力に富んで居つた。まだ大畫家の畫を見なかつた頃から立派な畫をかいた。地中海のカプリ島フランシス派の修道院があつて、其處にコルレヂヨが十九歳の時に書いた畫があるさうである。彼れはまだあまり自分の天才を識認しなかつたやうであるが一日ラアフアエルの畫の前に立つて恍然己を忘れて見入つて居つたが、忽ち『我も亦畫家である』と叫んだ。ラアフアエルと己の裡にあるものと相通ふものを見出したであらう。コルレヂヨは畫をかいてそして多くの金を得たやうでもないに、隨分立派な畫の具を使つたを見れば家が可なり有福であつたと見える。其れから彼は結婚して四人の子を擧げたが妻になつた婦人も相應の財產であつたと見える。さうして有福に暮して居つたが、その幸福長からず、三十四歲で死んだ。故鄕なるコルレヂヨのフランス派の會堂に葬られた。

『聖き夜』は一名『牧羊者の崇拜』とも名くる。ドレステンの美術館にある。コルレヂヨの特色を多く發揮したものでないが彼の名畫の一てある。言ふまでもなく救主降誕の夜を畫いたものである。牧羊夫の周圍に輝いたと云ふ榮光は猶ほ遠い山の彼方にたゆたふて居る。ありし事を見んとて急に來つた牧羊夫の一人は其の樣子で如何ばかり驚いて居るかを示して居る。其の向ふに二人の婦人が居る。これは女の牧羊者である。背景の所にヨセフが居つて、其の上に天使の群を瞥見する。しかし初めて見た處では此等のものはあまり此等の心に印象しない、我等も亦畫中の天使や人と同しく母の手に抱かれた幼いキリストから流れ出てる光を驚いて他を忘れてるので

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある。背の方に驢馬が居るがマリヤが乘つて來たのであらう。コルレヂョは『卑い境遇にも賤しき民にも天の使にも禽獸にも光明を注いで居る世界の光を見よ』と云ふが如く見ゆる。この光は昔の如く今も我等を迎ふる光である。いと高き所には神に榮光地には平和人には惠あれ。（解き明しの部分はドッヂ夫人の筆に成る）

講壇

世界の光

ロポルトソンのクリスマス說敎大意

『夫れ凡ての人を照らす眞の光は世に來れり』

約翰傳一〇九

今日道は世界に生れたまふた。然し此の聖書の本文を見ると彼は今日始めて生れたと想像することを許さない。また此の約翰傳第一章を讀めば、道は神と共に居り、世界を造り、凡ての人、殊に彼のものと稱せられた人々を照らす光で、遂に人として現はれ、肉を取り『其の榮えを見るに眞に父の生みたまへる獨子の榮えにして、恩寵と眞理とにて滿て』るものがあつた。

此の意見に從へは、人類の歷史は、神自身の啓示の歷史である。彼は道と稱せらるゝ其の實質の一部分に於て自らを現はされた。其れは恰かも我等の理性が時としては言に於て現はされ、また時としては象徵的の行爲に於て現はさるゝやうなものである。然し啓示は明かに、近く、且つ眞實であつた。

道の啓示に三樣ある。第一は自然に由つてである。『彼世に在り、世は彼に造られたるに世之を知らず。』第二は人間に由つてである。『其れ凡ての人を照らす眞の光は世に來れり』。第三は基督の受肉に由つてある。『それ道肉體と成りて我等の間に宿れり。我等其の榮えを見るに實に父の生みたまへる獨子の榮えにして、恩寵と眞理とにて充てり』。

一、自然に現はれし道の啓示。

太初、即ち世の成らざりし前、耳聞かず、心悟らざる前に於て、神の心は自らのうちに語つて居た。是れが道である。

道は造物主と受造物との間に立つものと云はれて居る。世界を成り出でしめ、之を適當に案配し、法

則を與へ、無意識の物體には活ける力として存在し、下等なる受造物のうちには生命及び本能として存在し、高等なる存在者には理性及び良心を與へられた。『彼によりて造られざるものなし』とは實際である。言は現はれてある、動作である。然し言にも多くの種類がある。最も能く云ひ現はされ得る言は、居から漏れるものではない。

米國の或る石工は天然の美に心を撃たれて、何かに之を現さうと思ふけれど、詩人にもあらず、畫家にもあらず、美術家にもあらざる彼は、大理石の上に其の感想を彫み付けたといふ。此の世界は實に神が自らを云ひ現はさんと欲して、彫り付けられた工である。每夜幕が取り去られて、我等は日光の隱れた後の光景を見る。每朝再び光の幕が引かれて我等は再び美しい世界を見ることである。

『神は世界の裡に在り』。物質は假令自ら無意識であつても其のうちにも神が內住せられる。創造は內住を意味する。クリスマスの事實を以て考ふれば、天地創造の意味が異つて來る。神は世界の裡に在り、其の生命となり、力となられた。諸々の法則を以てでなく、神自らが法則となられたのである。神の現

在を認めぬのは考へなき唯物論者の大いなる誤りてある。……さて聖書は永遠の道なる基督が自然のうちに居られることを啓示して居る。此の世界は形に過ぎぬ。基督は其の人格である。其の體である。而して靈魂は神である。また基督は外形に現はれたもので、其の實在は神である。神と我々との聯絡である。凡ての物の下には生命がある。其の生命は神である。……凡ての自然は聲である。有らゆる受造物は道の綴字若くは辭句である。『諸々の天は神の榮えを語り、蒼空は御手の工を示す』。此等は父の語られた語である。活ける言は其のうちに住ひ、此等をして雄辯に神のことを語らしめる。此の世界は神の秘密を永遠に讃へる讃美歌である。

二、人間に現はれし道の啓示。

道は宇大的に、また特別に人の中に啓示された。宇大的と云ふは『凡ての人を照す光』の義て、特別と云ふは『彼は其の民のうちに來た』との義である。

イ、基督は感覺に由つて世界に接せられる。理性と良心とによつて彼は我々と神とを聯絡せられた。是れは限られた啓示でなく、凡ての人に對する啓示である。……光は諸君のうちに照つて居る。其れ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は何處から來たか、諸君の理性と良心とは諸君のうちに在る神にあらずして何であるか。かくて古への聖賢、即ちプラトー其の他の人々についても、彼等は自らは意識しかつたが其の裏に在る基督を己が智慧を以て說いたものである。また舊約書に於ても王や師士は神々と云つた『聖書は毀る可らず、若し神の命を奉ぜし者を神と稱んには、父の聖め別ちて世に遣はしゝもの、我は神の子なりと稱へばとて何んぞ之を褻すことをいふと云ふべけんや。』

ロ、男にも女にも一般に受け容るゝ光と、其の民と稱せらるゝ光が特別に輝かさるゝものとは趣きを異にして居る。天才や詩人や發見家は天來の靈火に接する。神は靈の外に作用かるゝ。即ち自然に於て作用かるゝ。然しまた靈の內にも作用かれる。彼の氣息はインスピレエションである。然し我々が特別の意味で云ふインスピエションは、神が人の高尙なる精神のうちに作用かられることである。天才は神から來たものである。發見も、理性も、想像も然うである。然し天才の人と預言者とは同一でない。此の意味に於てユダヤ人は神與の國民であつた。彼等は偉大なる政治家や美術家や學者ではなかつた。然し神の思想や、義務、道德、及び靈的眞理の聖化と云ふ點に於ては、地上何れの國民と異つて居る。故に彼等は神の撰民と稱せられた。それで『凡ての人を照らす光』であれば、また神の靈の特別なる光もある。之によつて更に敏捷にあり、更に雄辯にあり、また賢くなるのではなく、他のものよりも一層神聖なる人になるのである。

三、基督の成肉は現はれたる道の啓示。

かくて只だ外形や音響でなく、人の生活に由つて神が語りたまふ時が來た『道肉體と成れり』。此の瞬間から人の生活は我々に對する神の心の現はれとなつた。其れは耶蘇が言はれたり、論證せられたり、宣言せられたことではない、耶蘇の爲さつたことである。生活の雄辯で、單なる言辭ではない。また其の敎へから諸君が組織し得る神學でもない。地上のものが曾て聽いたところの完全なる道、造物者の聲である。云々。

面影集

校長ミス、ビール

安井哲

私が嘗て英國に留學致して居りました折、種々の學校を參觀致しましたが、其中で實に理想に近いものであると感じたのが二三ありました。其中の一は彼の有名な「チエルタナム」の女學校で、其當時の校長ミス、ビールは、英國女子教育界の女王の如く、社會から尊敬せられて居た方で、同校長に關する逸話は、其昔同孃に親しく薫陶を受けた私の先生から度々承りました。

丁度或る夏休後、私は自分の學校が始まるまでに、二週間許の暇がありましたので、先生の紹介狀を頂き、同校參觀の許可を願ひました。處が夏休後の第一日目より二週間客として招くに依つて、緩々參觀せよといふ御親切な御手紙を頂きました。夏休後二三日は、生徒が充分落付きませんから、普通の場合には、參觀人の來る事は迷惑に感ずるのでありますが、自ら進んで其初の日を選ばれたといふには、餘程深い意味があるのであらうと想像して居りました。處が二週間此學校を參觀し、又年長學生の寄宿舍に生徒と起臥を共にしまして、此學校では實に立派な訓育が行はれて居るといふ事を發見すると同時に、校長の感化力の實に偉大なるに驚かざるを得ませんでした。

孃は學識あり、同情あるのみならず、意志の強い婦人で、未だ英國に於て女學校の餘り多くなかつた頃に、チエルタナム女學校長として、女子の教育に從事し、保守的の父母から、其女の教育に就て、種々の批評を受けながら、時々父母を會して、種々の方面から、女子教育の必要を說き、終に現時の如き驚くべき發展をなしたので、私が親しく御面會致しました時にも、其困難話をせられ、大に刺戟を受けました。

孃の幼時

孃は西暦千八百三十一年（今より七十九年前）三月二十一日、倫敦のビショップスゲイトに生れました。父はマイルス、ビールと云ひ、母はドロシア、マーガレットと申し、其第三女でありました。父母

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

共に文學趣味を有し、多忙の中から時間を割いて、宗教的及文學的の教育を其子供等に授けました。嬢はかく眞面目な且文學的の空氣に充ちた家庭に育つて、父と共に常にシェークスピアを讀み、母と共に歷史及一般の文學を讀んで、子供の時からかゝる方面に、多くの興味を養はれて居りました。嬢の父は非常に多忙な人でありましたが、常に多方面の興味を滿足させ樣と努力して居られたに係はらず、自己の責むるに「生來の怠惰」を以てせられましたが、嬢も亦此感化を受けて、千有餘人を有する一大女學校の校長として、種々の方面に熱心活動せられしにも係はらず、尚且其父と同樣の言葉を以て、自身を責められしには、周圍の人々も感歎せざるを得ませんでした。

學生時代

嬢は其初は姉と一處に、家庭教師に就いて勉強せられましたが、其當時眞に教師として、其責任を盡し得る程の學識ある者がなく、常に教師を取り換へましたが、多數の中に信用し得た者は、僅に一人であつたと申す事で御座います。其後嬢は學校に於て學ぶ事となりましたが、其勤勉と才能と德行とに於て、遙に他生に優れて居られました。此時代に於ては運動法が未だ充分に發達して居りませんでしたから、學生は每日一定の時間に、校園を何十回か廻らせられて、運動致しましたが、多數の學生が其回數をごまかす中に、嬢は必ず命ぜられたゞけの回數を廻つたといふ事であります。之に依つて、其眞面目な性格を判ずる事が出來ませう。

其後嬢は病氣の爲め、十三歳で退學せねばならぬ事となり、專ら家庭に於て獨學をし、其近傍にある三大圖書館を利用して、諸種の新聞雜誌は申すに及ばず、紀行、傳紀類等を絕えず讀みましたので、智識の進んだ事は實に驚くばかりでありました。嬢の最も愛讀したのは、ジェームス、スティーブンの論文、ジョージ第三世や、パスカルの傳なので、後者に依つて奮勵努力の精神を養ひ、終に幾何代數を獨學しました。嬢はかゝる學問を、父の助けさへなしに全く獨力で研究した結果、自家の研究は、單純な教師の說明を聽くよりも、遙に價値ある智職を得る者である事を覺られました。讀者の外、嬢は妹と共に諸處の講演會に出席し、熱心に聽講するのみか、直接講師に就いて種々の質問を試み、時には同行の妹が

待ち疲れ、又は饑を感ずる程であつたといふ事であります。（未完）

朝鮮の婦人

柴田とう

朝鮮の婦人は進取の氣象に富んで居るとか、偉いとか、家庭內では權力を持つて居て、又驚くべき程社交の才に長じて居るとか、朝鮮へ行つて來た方は皆申されます。けれども之れは「亡國の運命に立至つた朝鮮の婦人としては」と云ふ條件をつけて、聞いて置く事が必要で御座います。

文明に後れ、國亡ぶる事の如何に悲慘なものであるか、私は今度朝鮮へ行つて見て、しみ〲此の事を考へました。中にも婦人と子供に關する見聞は、實に同情に堪へぬ事のみでありました。

御伽噺や玩具が、國民性の涵養、其の國の文化と如何に密接な關係あるかは、皆樣のよく知らるゝ所でありませう。見學の序に、お伽噺や玩具等も集めて參り度いと思ひ、年久しく在住の方にも色々御尋ねしましたが、一向に見當りません、朝鮮の子供には、斯う云ふ恩惠は與へられないのです。

或日一朝鮮人の家庭を訪問致しました、夫人は嘗て日本にも、米國にも在留され、御主人も敎育ある方とて、家風は自然和韓洋折衷にて、朝鮮には珍しき文明の家庭でした。夫人を待つ間の暫、丁度學校から歸つて來られた十一二のお孃さんと御話した序に、朝鮮の玩具の事を御尋ねしますと、お孃さんも何にも御持ちになつた事はないとの事です。

「それなら人形は？女の兒は何か人形を拵へて持つてせう」と伺ひました。

「いゝえ、何にも持ちませんよ、布でなんか人形の樣に拵へて持つと、魔物だからいけないつて、お婆さんは取り上げて仕舞ひますから」

私は實にお氣の毒になりました。內地へ歸つてから、女子大學附屬豐明幼稚園主任甲賀藤子先生に此の事を御話しましたら、「まあ可憐相に、それで立派な國民になれと云つたつて無理ですねえ」と御仰つて、豐明幼稚園の小供達に、粘土細工等にて、手製の玩具を作らせ、子供より朝鮮の子供に送つてあげる事になりました。之れは一方園兒に朝鮮と云ふ事を考へさせ、又廣き同情を養ふ爲に、よき働きと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なるとの事にて、私は誠に嬉しく思ひました。斯様に淋しき幼年時代を送つて、九歳か十歳になると、早婚が自慢の風習故、貴族富豪などの娘は、何にも知らぬ間に、親の手から幼き夫の手に渡されます。十四五歳になれば最早や晩婚と云はれます。

下流の婦人などは、生活上の必要に迫られ、袚衣など計り被つては居られぬ所から、顔を露はして市場に買物にも行き、晴天の日は川邊に踞して、トン〱終日洗濯も致します。

上流の婦人は奥深き邸宅の內、更に土塀などにて區劃をたて、窄き入口に、「外人勿入」とか「雜人勿入」とか禁札をたてゝ、親か夫の外は、一切男子の出入を嚴禁した内房に、讀書をするのでもなし、さればと云つて勞働は賤しむ習慣から、家事に携るのでもなし、社交の樂しみを味ふのでもなく、唯毎日お化粧して、温室に蒸されて、何と云ふ事はなしに、死ぬ迄生きて居なければなりません。稀々の外出も腰輿にのり、袚衣を被り、行先は親類などより外はない。事久しく一家に住み乍ら、媛の顔を知らぬ人など、珍しくありませぬ。

天にも地にも只一人依り頼む夫は、金があれば妓に戯れ、幾人にても妾を蓄へて、其の多きを誇ります。妾と同居させられても、嫉妬せぬのが朝鮮の女德です。

朝鮮婦人最高の榮譽幸福は、官妓となる事だと申します。女子の爲には一の小學校すらなかりし時にも、官妓の學校はありました。

京城の大路後押つけたる人力車を勢よく走らせて、ひわ色絹の洋傘など、見すがしに翳し行く女、四角に拔き揃へたる額際に、黒漆の髪を中央から分け、金銀などの簪にとめて、厚化粧の頬紅ほんのりと、ピンクや水色など、華やかなる上衣着たる遠目の美しさよ、「あれは何」と朝鮮通の友にきけば、「藝を賣るとて、情けをも賣る女、社交界の華とたゝへられて、名あるものは詩文管絃の道は固より、聖賢の道をも、口にする事だけは出來る女、朝鮮婦人中の、最も自由なる女、あれが妓生なり」と。

目下京城には官立女學校の外、大小幾何かの私立女學校があつて、其の多くは西洋婦人の經營さるゝ、ミツシヨンスクールです。中に淑明高等女學校は、淵澤能惠子刀自が、朝鮮婦人の實狀を具さに知つて同情に堪へず、献身の誠を盡して朝鮮婦人の開發に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

務められた結果、遂に嚴貴妃殿下の御信任を厚うし、「女子教育の事は汝に一任す」との令旨とともに、基本金と某貴族の邸を御下賜に相成り、之れを校舍として開かれたもので、目下教育の經驗ある日本婦人三名の方が、鋭意力を協せて學監淵澤刀自を扶け居られ、高等女學校令に依り學部大臣の認可をも受けて、數ある女學校中に重きをなして居ります。明治三十九年開校の當時は、如何に上よりの御奬勵あるも、五人より入學する者がなかつた相ですか、今日では幼稚科、豫科（二年）本科（三年）を通じて、二百名に近き上流の女子を收容するの盛運を來したる爲、却て非常に經營が困難になつたとの事です。と云ふのは、朝鮮人の學校は、日本政府が男子の爲に開いた農、工の學校などでも、凡て官費で、斯うしなければ、入學者がないのださうです。淑明高等女學校は女子の學校です。日本でさへもまだ「女に教育は入らぬ」とて、髮飾りや、嫁入道具には金をかけても、學費は惜しむ親御も少くはありませぬ。まして女子は一生内房に、閉ぢ籠めて置くものとなつて居た朝鮮です、貴族でも、女子の教育に費す金は持たぬと云ふのは尤です。淑明高等女學校の生徒は、寄宿料より、書籍費迄、總て校費の支給をうけて學びます。

三人の友と私が參觀に參りました時には、日本語、漢文、數學、習字、理科等の授業が始つて居りました。幼稚科の生徒は小さき目鼻立ち、平板なる顔の、古代人形などの樣に愛らしく、豫科の生徒は、一見朝鮮婦人らしく見えますが、本科の上級生、卒業生の方など、如何にも引締りたる怜悧げな容貌にて、頭腦の變化は、斯くも容貌を變らするものかと思ひました。

何か日本の話をと乞はれて、是非なく、友の一人は、「日本の婦人は、朝鮮の御婦人に好意を持ち、殊に今迄の惡習慣に克つて、修養向上にいそしまるゝ、先覺者の皆樣に、深き同情を表し、誠心より其の成功を祈る」との意を、簡單に話しました處、卒業生の一人は、流暢なる日本語にて、直に挨拶をされました。

上級の方がダンスをして見せて下さいました。前髮をふつくり出した束髮に、水色、桃色、えび茶など、華美な朝鮮服の腕を組み、潤き裳をかゝげ持つて、編上の靴先き輕く、クッドリールやコチロンを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

舞ふ姿、多くは十七八歳から、二十歳は越えじの美しさながら、十二三歳を婚期とする朝鮮にては、斯かる人をも老孃と云つて、再婚三婚の縁ならでは、嫁ぐ事難きよし。十歳や九歳で嫁にやられ、夫に飽かれて後も、數多き妾と共に、寄生木の樣な一生を、夢の樣に溫室で過すのは申す迄もなく憐れですが、教育を受けた者も苦しう御座います。けれ共殉教者がなくては、何の進歩も來たす事は出來ぬのも故、實に氣の毒乍ら、致し方も御座りません」と仰せられた、先刻の淵澤刀自の言葉を思ひ出した時、私は見るに堪へぬ心地が致しました。

「烏はカア〱鳴いて來る」と云ふ唱歌を、先生が風琴で彈かれますと、幼稚科の生徒二十名計り、四歳五歳の可憐盛りなのが、朝鮮語で其の唱歌を唱ひ乍ら、楓の樣な掌を打つて、遊戲を始めました。教室の椽、欄干に近く立つて、孫を見る樣なうるんだ目容で、淵澤學監は之れを眺めて居られます。半白の髮を無雜作な束髮にして、細かき縞ネルの單衣に、黑繻子の帶を小さく結ばれたのは、朝鮮の學習院女子部とも云ふべき此の校を、苦心經營さるゝ學監としては、あまりに取り繕はれぬお風采ながら、却て又如何計りが床しく懷しくも見上げられたで御座いませうか。

淵澤刀自が朝鮮に渡られたのは、日露戰爭前でありました。今日でこそ朝鮮人も、齊しく日本國民として、兎に角表面にては、服從せぬものはありませぬが、戰爭當時は、露軍優勢の報傳れば、忽ち日本人を襲ひ、日軍の捷報を得れば、又日本人に從ふと云ふ風で、實に去就定まりなく、日本人は薄氷を履むの心地にて、多くは難を內地に避けましたが、刀自は「自分は誠心を盡して、朝鮮婦人の爲めに働いて居る、私を害すると云ふ事はあるまい、又誤つて害せられるのなら、害せられても仕方がない」と、堅き決心を示して、少しも動ぜられなかつた相です。

刀自は若うして寡婦となられ、明治の初年、米國に歸る或西洋人の子供の爲に、保姆となつて渡米して、多年の苦學を積まれた方、歸朝後同志社に新島先生の薰陶をうけ、初めは北海道に移住して、醫を業としつゝ、神の道を傳へ、人の心靈をも身體をも併せ救はんとの、目的をたてゝ居られましたのが、奇しき神の御導きに依り、遂に朝鮮婦人の教育に、生涯を捧げらるゝに至つたのであります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

或時一朝鮮人が、刀自の朝鮮女子敎育の爲めに盡されたる功を稱揚して、「君萬歲の後は、鐘路（京城の大通り）に銅像が立つだらう」と云ひました。刀自は厭な顏をして、「私は銅像なんか拵へられて、烏に糞をかけられるのは御免です、銅像なんかゞ欲しくて、何で此樣なヂミな事業がして居られませうか、私には何にも望みはない、只私の志を繼いで、朝鮮婦人の開發に當る人を、朝鮮人の中から一人でも二人でも出したいのです」。

刀自は本年第一回の卒業生として、業を了へたる數名の中、志操堅く、成績よき二名を、自身の俸給を割いて助敎師とし、心を盡して敎導して居られます。

來春は此の二人を日本に留學させ、充分の精神敎育と、普通中等敎育を受けさせ度いが、入學者益々增加する爲、經營困難にして、其の費途を得るが苦しんで居らるゝとの御話でありました。

日韓合邦となりてより、朝鮮は日本政府の手に經營せられて、疲弊した國民は免租の恩典に浴し、殖產の道は講ぜられ、全國に亘る鐵道の敷設は、非常なる速力を以て進步して居ります。殖產に關する農工の學校は、日本政府に創設せれて、多數の學生は、官費を以て敎育されて居りますが、女子敎育の前途は、未だ遙かでありまして、之れは政府の施設をのみ、手を空しうして待つて居つては、到底容易に其の效果を得難き事であります故、日本婦人が、一日の姉として、新に日本婦人となつて妹の朝鮮婦人を助けなくてはならぬ事と思ひます。私は日本婦人中に、刀自の如き方ありて、誠意を盡し、朝鮮婦人の敎育に當つて下さるのを、しんに有難く思ひます故、微力乍ら、遙に及ぶ限りの御助力を致し、刀自が心を盡して敎育されたる、二名の卒業生の方が、日本に來り充分の敎育を受けて、朝鮮婦人の敎育に、刀自の精神をついで立たるゝ樣を致し度いと、深く希望致します。

二人の留學生の爲に、淵澤學監は每月其の收入の幾分を割いて補助さるゝとの事でありますが、猶二年間の留學の爲めに、凡五百圓の費用を要します。素より之れは、朝鮮婦人に同情を持たるゝ多くの方々の助力を得ねばなりませぬが、私達學生も、自分相當の事を致して、誠心よりの同情を表はし度いと思ひました。素より生產力なき學生の事故、多くを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一七頁～二二一頁は原本落丁のため欠頁（不二出版）

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

杜蔭である。垣の麓には淺い窪がいくつもある。靜かに二人がこの窪所に歩んだ時堆積した落葉は乾いた香のない地に觸れてかさ〳〵と微かな、哀れな音をたてゝゐた。

空氣はいやに沈んで水蒸氣は、ひや〳〵と肌に冷たく成つて來た。風船をねだられて仕方なしに、つれ出された私は、このどんよりと曇つて凩を生みさうな雲を見て、いそぎ足になつた。

和ちやんはうれしい目的があるのでともに足が輕い。天神樣の杜を通り貫けて、やう〳〵玩具屋の前に立つた。大層丁寧で莞爾々々した顏のおばあさんは立ち膝しながら、赤と白との條入りの風船を奇麗にたゝんでお世辭を云ひながら和ちやんの手に渡した。私は和ちやんの左の手を引いて店を出たすると十ばかりになる男の子が鼻をすゝりながら、今しがた大きな松を車にのせて引いていつた後の落屑をひろひ集めて玩具屋の店前に立つた。おばあさんは顏に皺を深くよせて恐ろしいこゑをして何かのゝしつてゐた。

燈籠がいくつとなく並んでゐる天神樣の境内を通りぬけ例の建仁寺垣の小徑に出た。

公孫樹の落葉がさつきよりもまたたまつゐした。そして短かくなつた葉莖が枯葉の上に捨てゝあア。風の吹き廻して一時にパッと燃え上つた。其の纖弱い光のない焔は枯れた落葉に潛んだ力の最後の表現てある。

和ちやんは、かはゆい赤皮の靴先を急にはやめて家の垣についてかけ出した。落日の赤い笑はやせた沈默の森を通してこの、うなゐの脊を射た。私は獨りとり殘されて、枯葉からたつ煙の薄く少なくなつたのを見つめた。

聖書の研究

基督教の弟子道（中）

ミス、チアーロット、アダムス

弟子と其の兄弟

生活と云ふものは皆相互に關係したものである。基督教の生活もその例に漏れるものでない。

前回に於て我等は根本的の關係である個人とイエ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

スキリストとの關係を考へたのでなる、それは根本的である、これは生命の源ではあるがこれが終極ではない。宗敎は個人的であるとともに亦社會的である。『神は大なる經驗である』しかし此の經驗は深く倫理的なるものである。行爲と云ふ鏡の面に經驗は映さるるのである。

使徒ヨハネはイエスに現れたる神の愛につきて高尙なる解釋を與へた人であるが、何時でも最高の宗敎的經驗と實行と云ふ試驗にかけて見さするのである。『見る所の兄弟を愛せざるものは見ざる神を愛することは能はず』(約一書四〇十六―二十一)。

今日我等は弟子と其の兄弟との關係を考へて見たい。我等とキリストとの關係は引いて父子の關係と兄弟の關係と二重の關係を生じた。神に對して眞の子となり、同胞には眞の兄弟となる。要するに家族の關係である。

天父の家族は大家族である。子たる關係は兄弟たる嚴な義務を我等に負はせた。イエスが神の國と云ふことを敎へられた眞髓は此處にある。此の王國の王は父であつて臣民は皆子であり兄弟である。此の國に於ける生活は即ち關係せる生活である。(馬太十〇二十四、二十五、約十三〇三十四、三十五)。

如何に此の關係を實行すべきであるか。イエスは少しも抽象的な實際を離れた命令を與へない。彼は細心に道を示された。我等は彼の示せし所に隨ふて兄弟たる分を盡さねばならぬ。

(一)我等はキリストが人に接せられた全精神と其の態度を見なければならぬ。主として敎師として彼の行はれた所は盡く語られた所を照らすのである。福音書は彼と直接に接觸する所に我等を携へ來りて其處に我等を置くのである。此等の記事をよく〳〵玩味してイエスがあらゆる種類の人民、あらゆる種類の要求に接する結果を喚び起すべし。彼の訴ふる所は人の最も善きものに訴ふるのである。路加六〇三十五を見れば彼の態度の反響を見ることが出來る。イエスはかくまで親切であつて罪に陷つた人に對しても柔であつた。彼等は彼を慕ひ索めて良き我に復つた。路加十九〇一―十の如き其の一例である。

(二)弟子と其の兄弟との關係についてイエスの明に敎へられた所は何であるか。

(1)イエスの倫理に於て主となる原則は義である(馬太五〇二十)。義と云ふは抽象的な消極的なも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

のでない。義とは神と人とに對する關係に於て義しいことである。他と離れて義しくなり得るとの觀念はイエスの思想には遠い事で信仰と行との間の悲劇的なる分離の根となる。懐疑の根もここに存する。

(2)兄弟を待遇する上に此の義と云ふことを適用すべきこと。

(イ)怒、輕蔑などにつき『汝の兄弟を怒るなかれ』怒は家族的關係を害するものであつて、恐ろしい罪を産むものである。殺人も多く怒から生ずる。又人に對して悪口を吐き悪名を附けるも甚だ悪い。嘲弄は人の生命を萎靡せしむる。キング校長曰く『我等はさま〴〵の方向に於て他人の幸福と誘惑を起すものである。他人が口に言はずして様子に表す所、容貌、音聲など終日我等の氣持に影響するのである。』人を「愚かもの」と云ふのは人類に對する罪である。天父の家族に對する罪である。

(ロ)悪しき個人的關係につきての宗教的行爲 イエスは『汝の兄弟に恨まるることとなるを憶ひ起す』ときの事を教へたまふ。これは人を赦す時ではない人に赦さるべきときの事である。我等が人と人との關係に於て悪い事がある時に如何なる宗教的行爲も神に喜ばるるものでない。宗教には眞實と云ふことが必要である、これがない宗教は墮落するのである。

(ハ)人を赦すこと　馬太十八〇二十一―三十五

これは人を赦す方である。ペテロは七度も赦せば餘程寛大であると思ふた。之に對してイエスは赦すことは無制限でなければならぬと云ふことを教へられた。

(ニ)批評のこと　馬太七〇一―五

ここにイエスの戒められた事は、人を切れ〴〵に引き割いて我等の目に隱れた動機を解剖することである『批評は時として人を痲痺せしめて氣力の拔けたものとする。』

(ホ)親切と相互に助くること　路加十〇三十―三十七善きサマリア人の譬喩

此の話はイエスが兄弟と云ふものは如何になるべきか記述したものと云ふべきである。イエスは決して定義を下し給はぬ。彼は敍し寫すのである。イエスは人の爲に問題を決せぬ、彼は原

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理を與へて適用せしむるのである。此れは眞の敎育である。この物語の境遇や人物に注意せよ。盜賊に逢ひ打ちたゝかれて路傍に仆れ無言で助を求めて居る一個の人がある。二人の宗敎家(一人は祭司で一人はレビ人である)は彼を見ながら手を下さず過ぎ行いたのである。彼等は自分の事にのみ心を奪はれて他人の苦みに無頓着であつた。何故立ち停つて世話をしてやらなかつたかと問はれたならば彼等は『我はエリコで果さなければならぬ大切な宗敎上の用向があつたからである』と答へたであらふ。彼等の宗敎は律法的で又外部的であつたから不人情になつたのである。之に反してサマリヤ人を見よ。サマリヤ人と云へば輕蔑せられた階級に屬する平凡な單純な人である。然るに『彼は之を見て憫み』とある、時と藥と金を與へ不便を辭せなかつた。

イエスの弟子となり日々彼と心を一にして生活するならば我等の裡に兄弟の精神が發育する、此が我等とキリストとの關係が果して實であるや否やを試驗するものである。

道の栞

神の攝理について

白井胤祿

一時英國の宗敎界に波瀾を起した非基督敎主義の論客の一人にホリヨウクといふ人がありました。或るとき倫敦のシチイテンプルの牧師であつた博士パアカアと彼と討論をしたことがあります。パアカアの自敍傳のうちに其の時のことが書いてあります。『私は討論の際中に暫らく私の心を全く痲痺せしめるやうなことのあつたのを記憶して居ります。ホリヨウク氏が不意に自分に持ちかけた質問は「殉敎者ステパノが石で擊ち殺されんとした時、神の攝理は彼の爲めに何うせられたであらうか」といふのであつた。此の質問に何んと答へたものであらうか。私は暫し途方に暮れた』。此の際適切な答辯が與へられると否とは、討論全體に大いなる影響を來すところてありました。それてパアカアは一時非常に困り、心竊かに神の助けを祈り、さうして云つた。『苦難の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此の瞬間に、神はステパノをして「主よ此の罪を彼等に負はしむる勿れ」といふを得させたまふた。これ大能者のなされたこととて、神は殉教者の精神に此の罪の赦しの奇跡を行ひ、ステパノに取つては、彼を殺すところの惡人者に對して保護を與へる爲めに一軍の天使を遣はされたよりも、一層偉いことを爲された」と。此の答へを聞いた滿堂の聽衆は宛がら電氣に打たれたやうに大いなる感動を與へられ、パアカアに同意を表せぬものはなかつたと云ふことであります。基督教を研究しかけて居る人々の中には神の攝理の問題について一寸行き詰ることが少なくないやうであります。神は愛であると云ふに、何故世の中には無慈悲のやうに見えることが多いのでありませうか。此の點についてパアカアの當座即妙の答へは、動かすべからざる眞理を説破して居ると存じます。基督者は此の不思議な事實を何う云ふ風に解釋して居りますか。少し述べて見たいと思ひます。

一體基督者は神が常に人類に對して注意深く行き屆いた教育を與へて居らるゝと信ずるのであります。人生には喜ばしいことゝあれば、悲しいこともあり、樂もあればまた苦もあります。其の種々樣々の出來事の關係や、其の結果などを考へると、ちやんと脈絡が通じて居て、其の按排の妙實に云ふ可らざるものがあります。此所を以て私共は之は只だ偶然自然に出來たものでなく、或る目的を以て見事に配劑せられたものではなければならぬと考へ、之を神の攝理と申すのであります。また人類に取つては之が即ち神の親切なる教育でなければならぬと考へるのであります。世の中の學校でさへ色々の課業があるのですから、人生の複雜な學校では實に入り組んだ解し難い問題も多く課せられることでありませう。神が宇宙を經營せらるゝ方法の一は刈り込み法であると存じます。老練なる園藝家は樹木の枝を屢ば思ひ切つて刈り込みます。素人が見ますと隨分殘酷なやうにも見えますが、斯くしてこそ初めて良好な果實を多く結ばせることが出來るのであります。之と同じく神も私共の肉體に於て、或は家庭に於て、或は事業に於て、或は境遇に於て、思ひ切つた刈り込みを施されることがあります。然し是れは決して癒されない苦痛でもなく、望みなき損失でもありません。聖書に『神はその愛する子を懲す』とあります。親が其の子を懲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

すは、之を立派に發達させ、善き結果が見たいとの深切な心からである。此のやうな苦い敎育を受けるものは、其の時には隨分堪へ難いやうな心持もしませうが、後になつて靜かに之を思ひ起すと、實に遠く深く自分の爲めに慮られた處置であつたと心から感謝せねばならぬやうになります。

今から十年ほど以前になりますが私は或る悲しむべき出來事に出逢つて、關西の方に旅行したことがあります。其の旅行のうちでブラウニングの詩を歌み、暗黑の中に一道の光明を認めたやうな心地のしたことがあります。

「世界より苦痛を取り去れよ。
然らば神に感謝し、人を愛するの
餘地何處にありや。………
神に感謝し、人を愛する心を
人より取り去れよ。
然らば人の價値何處にありや。」

詩人の下した斷案は如何にも痛快ではありませんか。實に人の心の花は順境に於てのみ美しく咲くものではありません。慘憺たる逆境の間に於ても氣高く美しく驚くべき花が開き得るのであります。世界の歷史を飾るやうな偉人の傳を見ても多くは艱難や苦鬪や悲哀などの裡に其の人格を養成されたことであります。ラスキンが或る少女に送つた手紙に「御身を怒らせたり、或は不快の感を與へる事柄は、之を基督より直接に與へられたものと心得、何のやうな境遇にても、絕對に己が感情を平靜に保ちなさい。其の事柄の御身を怒らせることが多ければ、益す主に感謝しなさい。宛かも年若き兵士が其の大將に信任せられて、城堡を守る困難な要所に置かれたことを感謝する如くになさい」との一節がある。斯う云ふのが基督者の心懸けであります。此んな風に世の中の出來事を考へるのと、只だ盲目的の力に由つて偶然に或は自然に樣々の出來事が起ると考へるのと、何らが眞實に私共の心を滿足させませうか。

我國基督敎の三名士逝く

日本の基督敎會に功勞多かりし三名士此程相前後して逝去せり。其の一人はデビス博士あり。博士はアメリカンボードの宣敎師として明治四年の夏我國に來り、組合敎會の創設に與り、殊に新島襄氏を援

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けて京都同志社の經營に盡瘁し、三十餘年一日の如く日本の基督敎會と其の敎育事業とに心を勞したり。熱誠にして敬虔の念深く、古預言者の風丰ありき。明治五年頃出版せし『眞の敎の近路』と題する小冊子を始め、『基督敎の大原理』、『基督敎の基本』、『新島襄先生傳』等有益なる著書少なからず。日本に於ける基督敎の發達に貢献せしところ少なからざりき。博士は今年夏蘇國エデンボロに開かれたる萬國宣敎大會に臨み、米國に靜養中病を得て去月上旬遂に此の世を去られたり。吾等は此の有力なる外國宣敎師を日本より失ひたるを悲まざる可らず。

我國に於て最初に敎師の按手禮を受け、また敎役者中の最年長者たりし奧野昌綱翁は、去る二日の拂曉八十八の老齡を以て此の世を去られたり。翁は上野輪王寺宮に事へ、戊申の際彰義隊の戰ひに加はりたることあり。後ち橫濱に於て基督敎を聞き、遂に受洗するに至れり。年已に五十歳にてありき。ヘボン、ブラウン兩博士を助けて新約聖書の飜譯を爲し、其の他讃美歌の編成に與り、諸方の敎會を牧し、更に全國に巡回傳道し、基督敎會の名士にてありき。今や其の善き戰ひを戰ひて基督の許に歸へれり。

また我等は我國基督敎の開拓者たる聖公會のウキリアムス老監督の逝去を悼まざる可らず。監督は安政六年六月日本に來り、謙讓、敬虔にして献身的の單獨生活を送り、隱君子の風ありて善き感化を與へたり。先年飄然として米國に歸り、今や遂に逝きぬ。享年八十二。

女子青年界

●新幹事ミス、ワトニイの來朝

英國の女子青年會より派遣せられ我國に來朝することゝなりしミス・ワトニイ女史は去る十二月十一日無事に來朝せられたり。同女史は一九〇三年より倫敦のベッドフォルドガレッヂに學び翌年ガルトン大學に入り一昨年まで在學して博物學を學はれ、殊に二年の間は地質學を專攻せられたり。大學にありし時は學校の女子青年會の會長に推され其外屢々重大なる責任の地に當られたる有爲の人物なり。かゝる有力なる人物を迎ふるは我が國女子青年會の幸にして、殊に又加那太合衆國及び英國の三國より人を送られたるは蓋し世界的の特色を發揮するものと云ふべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●四錢の献金

前號の本誌に世界の基督敎女子青年會々員が毎年四錢宛の献金して、同會本部の費用を支へ居ることを述べ、日本の女子青年會員にも其の企てに同意して僅少の金もて大いなる事業を爲すの機會を逸せざらんことを勸めたり。然るに其の後諸方より献金ありて、十二月五日までに集りたる金額は左の如くなりき。

一金壹圓也　女子學院　二十五名
一金壹圓六拾錢也　共立女學校　四十名
一金壹圓四拾八錢也　同志社女學校　三十七名
一金貳圓也　同　外國傳道の爲め特別寄附
一金壹圓〇八錢也　宇都宮クリスチヤン女學校　二十七名
一金四圓也　東京女子青年會　百　名
一金貳圓七拾六錢也　ウヰルミナ女學校百三十八名（但し一名二錢づゝ）
一金參圓參拾四錢也　プール女學校　八十四名
一金五圓四拾四錢也　宮城女學校　百三十六名
一金參圓九拾貳錢也　青山女學院　九十八名
一金貳圓九拾錢也　女子英學塾　七十二名
計金貳拾九圓五拾貳錢也

●フエリス女學校青年會

九月中旬秋風に送られて歸校するや會の規定に從ひ各木曜日午後二時より全會員一同講堂に於て或は小團體に分れて祈禱會を催し、毎月第二及び第四の金曜日午後七時より暫時の間互に胸襟を開きて感謝祈禱の會合をなせり

十月二十日第三木曜日、海岸敎會牧師笹倉彌吉氏を聘し同氏より「己が事のみを顧ず人の事をも顧みよ」との聖句に基きて精神的訓話を示され大に我等各の品性の發達を促されたり。

十一月十六日より十七、十八の三日に渡り特別集會を催したり、ゴルボルト氏の指導は大に讃美歌に活氣を添へ毛利牧師の祈禱、植村正久、外村義郎兩氏の熱烈なる奬勵は信者一同の信仰の醒覺を促し又未信者中より多くの求道者を出すに至りしは感謝に堪へざる所なり。

●宇都宮クリスチヤン女學校青年會

前會長及び書記は都合上辭職せしに依り十一月二十一日午前九時より校長ミセス、フライの司會にて臨時青年會を催し新に役員を撰擧せり、入會者十一名あり。

會長　菅野むら　副會長　中井たけ
書記　粟野きよ志　副書記　星野いそ
會計　渡邊ふぢの　副會計　三條としぢ
常備委員　平粟うめ　小野寺ちさと
佐々木たねよ　米谷よね

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●大阪プール女學校青年會

十月二十九日午後六時當地小學生の爲め幻燈會を開く、來會せる兒童約二百、預想外の盛會なり、爾來日曜學校に出席する生徒數大に增加し毎日曜平均五十名以上なり、擔任者一同深く喜び居れり、當會にて開く日曜學校數六之れに從事するもの三十五名慈善部にてはキングス、ドウタアと名けて毎金曜日午後三時より四時までと四時より五時までと二の集をなす。前者は通學生の集りにて重に造化、おしゑ、其他細工物をなし後者は寄宿生舍にて毛糸細工をなし居れり。訪問部にては特に紡績會社の訪問に力む訪問は大抵日曜日午三六時半より五時半までの間にて五六名の會員が病にある工女を見舞ひ神樣の事を話して彼等に慰安を與へ時には小冊子を配附す、尙近頃より勤務交替にて休業し居るもの丶爲めに讃美會を開き讃美歌を敎ふ。

●同志社女學校青年會

九月會長並に書記辭職以來適當なる候補者なく實に困り居れりされど去る祈禱週間には會員一同心をこめて良會長の與へられむ事を祈りたれば近日いよ〳〵最後の撰擧をなして決する覺悟なり。

●大阪ウヰルミナ女學校青年會

十一月七日(月)講演會を開く、敎師ミス、ハウワアードは伯林に開かれたる萬國基督敎女子青年會大會及び英國エデンバラに於ける萬國基督敎大會視察談をなし幹事の司會、校長の祈を以て閉會す。

十四日此週間は萬國基督敎女子青年會祈禱週に當れるを以て午前八時三十分より十五分間毎日規定の題目につき祈禱會を開く。

二十一日は基督敎と信仰、二十八日には基督敎と利己的ならざる愛といふ題にて例會を開く。

●小石川傳道女學校女子青年會

十一月四日、此の日は經驗會の開かるべき日なり佐藤姉の司會にて諸姉の有益なる經驗談を伺ひ得たるは殊に喜ばしき至りにて感じたる事も少なからざりき、出席者十四名。

十一、十八、二十五日講話會を開く、講師三人、バンフワインド、小林原子、ミス●ハラア、出席者十六七名、毎會有益なる講話にて會衆の少なさは實に殘念なり、か丶る集會に一人にても多くの友を導く事を得ば幸甚なり。

●女子英學塾青年會

十一月十三日より十九日に渡る萬國基督敎女子青年會祈禱週日には我青年會にても毎日十二時半より約三十分間祈禱題目に從ひて祈禱會を催す、出席者

毎會平均十三名、此祈禱によりて我力弱き青年會も萬國青年會の一部なる事を明に自覺すると同時にまた其責任の大なるを感じたり。主にある萬國の姉妹が又わが青年會の爲めに熱心なる祈りを捧げつゝあるを思ひて大に力を得たり。

●横濱共立女學校青年會

十一月十四日より指定の如く特別祈禱をなす。同十六、十七、十八日以上三日間京都に於て働かれたるゴルボルド氏、折柄歸米の途上なるを幸ひ、聘して毎日午前十一時より十二時迄讃美歌練習をなす、猶其折左の三者に説敎を請ふ、校中大に感動す。

第一日――植村正久氏
第二日――外村義郎氏
第三日――笹倉彌吉氏

十一月二十七日――學生祈禱集會は先週の日曜に開くべかりし處諸士の都合により今日迄延期。ふゑりす女學校に於て開催。司會者は同校の菅姉、辯士は横濱指路敎會牧師なる毛利官治氏。馬可傳二章の前半を取りて諭し給へる所ありき。

●青山女學院青年會

萬國基督敎女子青年會の祈禱週日をまもり毎朝八時より三十分間五組に於て祈禱會を開く、初等級三組は正午之を開けり、最終の日曜日には祈禱週中の經驗、感想及び働きに就き感話會を催せり。十二月六日當會員一同東京基督敎女子青年會の招待を受く、秋の日の短き半日は暮れたれど種々なる餘興なか〳〵に盡きざりき。

●米子基督敎女子青年會

去十月日本基督敎女子青年會に加入するを得たる本會はミス、ギレスピイを會長とし既に三十五名の會員を得たるを悅ぶ、內十名は正會員なり、隔地に於ける新事業なれば戰ふべき多くの困難を有すれど神の大なる企の一端に加はれるを光榮とし、既に經驗に富める各青年會に助力を請ひ、此地に於ける我等の務めを果さんと期す。

●札幌學生基督敎女子青年會

本會は去十月日本基督敎女子青年會に加入するを得たるを喜ぶ、會長、國枝綾子、書記、藤井國子、書記は藤井氏の都合により當分會長之を兼ね、會員二十六名、內二十名は札幌內に在り、聖書研究會を催し毎週之を開く、出席者十五名其半は未だ會に屬せざる者なり。

●『明治の女子』の編輯者

是れまでは本誌の編輯主任者なかりしが、明年一月より東京女子高等師範學校敎授小此木まつ子女史之を擔當せらるゝこととなれり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

聖書諳誦同盟

かねて數回報じたる聖書諳誦同盟は愈今月中に試驗せらるゝこととなれり。女子靑年會員は豫め本部に通知して認許されたる學校の敎師の前にて之を諳誦し、敎師は月末までに其の結果を報道せらるべし。會員ならざる女子にても女子靑年會に金一圓を納めなば此の同盟に加はり得べし。

汝の言は我が足の燈火、我が途の光なり。（詩百十九篇百五）

舊約聖書の部

出埃及記二十章一―十七　十誡。
詩篇一篇　義人と惡しき人。
同八篇　神の榮光と人の價ひ。
同十九篇　神の所爲と其の言。
同二十三篇　エホバは我が牧者なり。
同二十七篇　恐れなく神に倚ること。
同九十一篇　隱家なる神。
同百三篇　神の惠みの讃美。
同百二十一篇　民を保ちたまふ神。
以賽亞五十三章　メシヤの苦痛と死の預言。
以賽亞五十五章　メシヤ最後の勝利。
米迦六章八　眞の宗敎。

新約聖書の部

馬太傳五章一―十六
同五章四十三―四十八
同六章
同七章
同十章二―四　十二使徒。
同十章三十二　基督を告白す。
同二十二章三十五―四十　律法の要領。
同二十五章　最後の事の譬喩。
同二十八章十八―二十　大なる任命。
馬可傳十章十三―十六　耶蘇幼兒を祝福す。
路加傳九章二十三　基督に從ふものゝ義務。
同十五章　譬喩。
約翰傳一章一―十四　神の言なる基督。
同三章十六　神の愛。
同四章一―二十六　眞の禮拜。
同十章　善き牧者。
同十四章　汝等心に憂ふる勿れ。
同十五章　我は眞の葡萄樹なり。
同十七章　基督の祈り。
羅馬書八章三十五―三十九　基督より離れず。
哥林多前書十三章　基督敎の愛。
雅各書一章十二　勝者の褒美。
默示錄二十一章二十二―二十七
同二十二章一―五　天

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬國基督敎女子青年會の當局者

目下萬國基督敎女子青年會の下にありて各地に此事業の爲めに盡力しつゝある人々はすべて五十一人なり。今其の姓名を擧ぐれば左の如し。

亞弗利加

ミス・ランキロル　アビオクタ在住
ミス・マクインス　カイロ在住
ミス・ハリソン
ミス・ウエルク　ケエプタウン在住
ミス・チング　ダルバン在住
ミス・グリイン
ミス・ヒウキツト　ヨハネスボルグ在住
ミス・ミラア
ミス・シイ・バアカア　フレトリア在住
ミス・グウド　エリザベス港在住

印度

ミス・イセル・ハンタア（總幹事）　ボムベイ在住
ミス・ラツクノウ
ミス・メイ・クツク（休養中）
ミス・ウヰスタア
ミス・ラング
ミス・ルウサルフオルド
ミス・ヘイグ
ミス・ラツドフオルド　カルカツタ在住
ミス・エリス
ミス・エム・ベントレイ
ミス・サンデス
ミス・プレントナル
ミス・モルリツジ　アジメア在住
ミス・デヴヰス　アラハバド在住
ミセス・カムミング　ダアジイリング在住
ミス・シモンヅ
ミス・マスタア　シムラ在住
ミセス・ウヰリアムス
ミス・ブラツカア　カラキ在住
ミス・ヒル（休養中）　ラホオル在住
ミス・ワアウ
ミス・クロツス　マドラス在住
ミス・ブラザルトン
ミス・カンニンガム
ミス・カルチス　マツチウリイ在住
ミス・グレゴリイ

セイロン

ミス・カイトナア　コロンボ在住

ビルマ

ミズ・カツスウエル　ラングウン在住
ミス・レドウヰツチ

支那

ミス・バドツク（休養中）　上海在住
ミス・コツボツク
ミス・ドグビンス（休養中）
ミス・フヒツチ
ミス・サクセルビイ
ミス・スミス
ミス・ウエルス

日本

ミス・マクドナルト（休養中）　東京在住
ミス・マシユウ
ミス・ケエル
ミス・ワトニイ

南亞米利加

ミス・トマス　ブエノス・エイルス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

女子寄宿舍

女子基督教青年會は
小石川區水道町二十八番地及び
牛込區納戶町四十五番地
の二ヶ所に寄宿舍を設け女學生諸子の爲めに及ぶ限りの御世話を致して居ります

右の寄宿舍は世良田春子、大西絹子の兩氏が親しく監督して居ります此の帝都に家庭又は適當の保護者のない女子をして其の家庭に於けると同樣の勉强の出來る樣にするのが青年會寄宿舍の希望であります。

入塾希望の御方は願書を監督者世良田春子に宛てゝお送り下さい

寄宿舍委員長
新渡戶まり子

National Committee

Mrs. Hana Ibuka, Chairman
Dr. Kei Okami, Vice-Chairman
Miss Sarah Ellis, Secretary
Mrs. G. M. Fisher, Treasurer
Miss Michi Kawai, Member World's Committee
Miss Sumi Miyagawa, Corresponding Member World's Student Christian Federation

Resident Members:

Miss A. B. West.
Dr. Tomo Inouye
Miss Hama Hirano
Mrs. Koharu Nakajima
Miss Uta Suzuki
Miss Tami Mitani
Miss Tetsu Yasui
Mrs. Koito Saiki, Kyoto
Miss M.F. Denton, Kyoto
Miss Wynne-Willson, Nagoya.
Miss Charlotte De Forest, Kobe.
Miss M. Brownlow, Hakodate.

Non-Resident Members

Miss K. Tristram, Osaka
Mrs. K. Araki, Osaka
Miss N. B. Gaines, Hiroshima
Miss H. J. Worthington, Kure.

Miss A. C. Macdonald, General Secretary
Miss Margaret L. Matthew, Tokyo Secretary
Miss Mary S. Kerr, Office Secretary
Headquarters 41 Sanbancho, Kojimachi, Tokyo.

部數	定價（郵稅共）	海外
一部	金五錢	金九錢
十二部	金五拾錢	金壹圓

明治四十三年十二月十四日印刷
明治四十三年十二月十五日發行

發行兼編輯人　東京市麴町區三番町四十一番地　エー、シー、マクドナルド
印刷人　東京市神田區美土代町二丁目一番地　島連太郎
印刷所　東京市神田區美土代町二丁目一番地　三秀舍

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA